

# 令和3年教育委員会第11回定例会会議録

開会日時 令和3年11月4日 午前 10時00分

閉会日時 同上 午前 10時22分

場 所 教育委員会室

出席委員 教育長 小花高子  
同職務代理者 上原有美江  
委 員 壺内 明  
委 員 望月京子  
委 員 日高芳一  
委 員 青柳 豊

## 議場出席委員

・教育次長	安井喜一郎	・学校教育担当部長	菅谷 幸弘
・教育総務課長	鈴木 雄祐	・学校施設担当課長	森 孝行
・学務課長	山崎 淳	・指導室長	加藤 憲司
・教育情報担当課長	羽田 顕	・学校教育支援担当課長	大川 千章
・統括指導主事	木村 文彦	・地域教育課長	尾崎 隆夫
・放課後支援課長	高橋 裕之	・生涯学習課長	加納 清幸
・生涯スポーツ課長	柿澤 幹夫	・中央図書館長	尾形 保男

## 書 記

・教育企画係長 大石 睦貴

開会宣言 教育長 小花高子 午前10時00分 開会を宣する。

署名委員 教育長 小花高子 委員 上原有美江 委員 壺内 明  
以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

開会時刻 10時00分

○**教育長** おはようございます。それでは、出席委員が定足数に達しておりますので、令和3年教育委員会第11回定例会を開会いたします。

次に、本日の会議録の署名は私に加え、上原委員と壺内委員をお願いいたします。

それでは議事に入ります。本日は報告事項等が3件でございます。

それでは報告事項等の1「令和3年度中学校英語スピーチ&プレイコンテストの実施結果について」の報告をお願いします。

指導室長。

○**指導室長** それでは「令和3年度中学校英語スピーチ&プレイコンテストの実施結果について」ご報告をさせていただきます。

まずはこのコンテストですけれども、平成13年度から行っておりまして、非常に歴史あるコンテストでございます。

実施日でございますが、10月9日の土曜日、ちょうど葛飾教育の日が実施された後の午後を使って行っております。

場所は金町地区センターでございました。

参加者は、各中学校の代表でございます。

結果でございますが、スピーチの部は出場24名で、中学校24校から1名ずつ代表者の方に出たいただき、ご覧の順位になっております。

プレイの部は、ご希望があった1校のみでございますが、ビデオ審査という形で実施いたしました。

新型コロナウイルス感染防止対策のため、スピーチの部は、12名を1グループとして、実施をしております。

公開については、出場生徒1名につき保護者1名までとして、実施をしたところでございます。

当日、私も参観に参りましたが、換気等も非常にしっかりやっていただき、安全な状況の中で実施されておりました。それぞれスピーチ各5分でございますけれども、手元も見ないで、本当に素晴らしいと感じたところでございます。

昨年度については総合教育センターの体育館を会場に、半日で行いましたが、もともと令和元年度はかめありリリオホールで、1日かけてやっていたものを少し内容を精選して、実施をしたものでございます。

生徒の非常にいい活躍が見られた半日になりました。以上でございます。

○**教育長** ただいまの報告につきまして、ご質問などございますでしょうか。

青柳委員。

○**青柳委員** ご説明、どうもありがとうございました。

このスピーチコンテストは10月9日に行われたということで、緊急事態宣言が明けた中での開催ということでできてよかったなと思いますし、皆様の対策、大変だったと思いますが、ご苦労さまでございます。

その中で、今回も保護者1名という決まりがあったようですけれども、今後、状況は分からないですけれども、今、緊急事態宣言が出ていないということと感染者数が減っている中で、この辺の決まりというのは、もう少し緩めていくとか、そういった基準というものはあるのでしょうか。

○**教育長** 指導室長。

○**指導室長** まさにそこでございますが、検討している状況でございます。

指導室として様々な行事とか、またこういった形の教育委員会主催の行事がありますけれども、まずは児童・生徒が主役ということで、できるだけ子どもたちのこういった機会を確保していきたい。プラスアルファとして保護者の方、または地域の方ということで進めております。

今、お話にありましたとおり、感染状況は少し落ち着いてきておりますけれども、依然としてまだまだ危機感も持っていなければいけないところでございますので、その辺り、バランスをしっかりと考えて、検討してまいりたいと考えております。

○**教育長** 青柳委員。

○**青柳委員** どうもありがとうございます。やはり保護者も両親で見に行きたい、もしくは祖父母も連れていきたいという方もいらっしゃると思います。

今後、当然、状況は分からないので、短絡的に考えるのはよくないと思うのですけれども、例えば広い会場を設定して保護者の人数を増やしていただくとか、そういうご配慮もしていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

○**教育長** ご要望ということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。

そのほかにはいかがでしょうか。

壺内委員。

○**壺内委員** 本当に文化の季節にふさわしいコンテスト、お疲れさまでした。コロナ禍の中でこういうふうなスピーチコンテスト、あるいはプレイコンテストということで、英語に関するものですが、小学校英語のほうがもう今、学習指導要領に明記されてきましたので、これは特にプレイの部分ですが、できれば中学校と小学校が連携しながら、中学校に入ってもスピーチから英語演劇にまで発展すれば、さらに国際化に向かって、こういうことによって世界に羽ばたけるのかなと考えております。ご要望でございます。

○**教育長** ご要望ということで、それも踏まえて、いろいろ検討してまいりたいと思います。

日高委員。

○**日高委員** ちょっと関連しますけれども、スピーチについては各校1名ということで、代表が集まってこのように審査されるということで、大変望ましいなと思います。問題はプレイコンテ

ストですよね。1校だけだったと。前はもっと多かったのではないかなと思うのですが、何か理由はありますか。

○**教育長** 指導室長。

○**指導室長** プレイの部でございますけれども、例えば令和元年度を見てみますと、そのときのプレイの部というのは3校ございました。

例えばですけれども、常盤中学校のE E Cというクラブであったり、中川中学校の英語劇の有志、奥戸中学校の英語活動部など、いわゆる部活動を母体としたようなものが多かったのかなと思っております。

それから、1日というお話をしましたけれども、今日ご説明させていただいているスピーチの部というものがスピーチ2の部という形になっておりまして、その前に、どちらかという2年生、1年生が挑戦をするスピーチ1の部ですとか、そういったものがあつたところでは、スピーチ2の部は、都大会の区の代表を決めるために、1校から1人ということで最低限度の大会をやっているのですけれども、プレイにつきましてもやはり広げていきたいなと思いますし、先ほどお話のあつた小・中学校の連携ということで、小学生の高学年にもぜひこのスピーチとか、こういったものも見ていただきたいと思いますので、本日そのようなご意見を頂いたことを関係する先生方とも協議をしていきたいと思っております。

○**教育長** 日高委員。

○**日高委員** 大変すばらしいことだと思いますので、ぜひ普及させていただければありがたいと思います。

今回もビデオ審査でやったという工夫もされているようですから、これも大変すばらしいなと思います。今後ともぜひ継続して、できるだけ多くの参加者が出てくるようになるとういことを期待したいと思います。よろしく申し上げます。

○**教育長** ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。

それでは上原委員。

○**上原委員** 第1位になったのが新小岩中学校の2年生のお子さんで、そのほかは皆3年生がいられていますよね。今の指導室長のお話を聞くと、今まで1、2年生は別の形で出ていて、今回の場合はその代表という形だったのですけれども、この2年生の新小岩中学校の方というのは本当にすごく上手だったのですか。ちょっとその辺をお聞きしたいのですが。

○**教育長** 指導室長。

○**指導室長** まずは当日の審査でございますけれども、いわゆるネイティブスピーカーの方がお2人、そして英語科の教員が2人で、学年などは全く考慮なしで、内容についての審査ということになります。私自身が英語のスピーチについては専門性がないのですけれども、その辺りにつ

いては学年ということではなく、その内容について公正に審査が行われたということになりますので、とてもすばらしいスピーチであったと思います。

○教育長 上原委員。

○上原委員 そうしますと、都大会に出るのはこの人になるのですか。

○教育長 指導室長。

○指導室長 例年ですとそうなのですが、一つ残念なお知らせがありまして、実は都大会が中止になってしまいました。

昨年度は開催されたのですが、東京都全都で行うということもありますので、やはり新型コロナウイルス感染症対策の観点から中止となったということがあります。

来年度以降は例年どおりということで、このスピーチの部で優勝された方が都大会に進むということになろうかと思えます。

○教育長 望月委員。

○望月委員 先ほど日高委員から人数のことが出ましたが、例えば1年から1人、2年で1人、3年で1人と、人数を増やすということは難しいのでしょうか。チャンスを与えてあげたいなと思っております。

○教育長 指導室長。

○指導室長 やはり半日ということですが、今回は感染対策ということでグループも分けてということなので、その出入りも非常に時間のゆとりを持って実施しております。

ただ、感染等も落ち着いてきた中で、例えば令和元年度までやっていた1日、令和元年度は9時半から午後5時まで行っていたわけですが、そういった形で、しっかり場所が確保できる状況であれば、望月委員がおっしゃるようなスピーチの部でも幾つかの内容が充実できるのかなと思っておりますし、そのような形になるといいなと考えております。

○望月委員 ぜひお願いします。

○教育長 感染対策をどこまで厳しくしなければいけないかというような状況を見ながら検討させていただきたいと思えます。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上で報告事項の1を終わりといたします。

次に報告事項等の2「令和3年度『少年の主張大会』予選会の結果及び本大会の日程について」の報告をお願いします。

地域教育課長。

○地域教育課長 それでは私から「令和3年度『少年の主張大会』予選会の結果及び本大会の日程について」ご報告いたします。

まず1の「予選会の結果」でございますが、(1)小学生の部でございます。こちらは応募者

数 329 人、予選会出場者数 318 人、応募校数 48 校、17 予選会場において、各 1 名ずつ代表を選考してございます。各地区の地区別の内訳については記載のとおりでございます。1 から 17 まですべて計 17 名、本大会に出場する方を選出したところでございます。

また、ナンバー11 とナンバー16 にありますが、奥戸地区と西水元地区につきましては、応募者数が少なかったことから、他地区と合同で開催したところでございます。

お手数ですが裏面をご覧ください。中学生の部でございますけれども、応募者数 88 人、予選会出場者数 79 人、応募校数 18 校、4 予選会場におきまして、各 2 名ずつ代表を選出しております。合計で 8 名の方が本大会に出場いたします。担当地区別の内訳については記載のとおりとなっております。

2 の「本大会の日程」でございますが、令和 3 年 11 月 20 日土曜日、午後 0 時から午後 4 時 30 分まで、かつしかシンフォニーヒルズのアイリスホールで実施する予定でございます。当日の審査におきまして、最優秀賞 3 人、優秀賞 7 人、入選 15 人を決定して、表彰を行う予定でございます。

またその他でございますが、先着 230 名となっておりますけれども、当日は保護者をはじめ一般の方も入場いただけるようにしてございます。当然のことではございますが、入り口での検温、手指消毒等、また会場内の応援につきましては拍手のみとするなど、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、実施する予定でございます。

また、教育委員の皆様におかれましても、ご都合がよろしければ、ぜひご出席いただければと存じます。

私からの報告は以上でございます。

○**教育長** ただいまの報告について、ご質問等ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、以上で報告事項等の 2 を終了といたします。

続いて報告事項等の 3 「令和 3 年度『朝食レシピコンテスト』の実施結果について」の報告をお願いします。

地域教育課長。

○**地域教育課長** それでは私から「令和 3 年度『朝食レシピコンテスト』の実施結果について」ご報告いたします。

1 の「目的」でございますが、同世代の子どもが考案したレシピを「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」に掲載することにより、児童が家庭の中で朝食に対する意識を高めるために実施するものでございます。

2 の「応募数」でございますが、1,766 作品。応募校数は 46 校となっております。前年度と比較しますと、953 作品から大幅な増となり、たくさんの応募がございました。

こちらにつきましては、各学校が児童に宿題としていただいたことなどにより、例えば令和 2

年度は、100名以上応募があった学校が2校だったのですけれども、今回100名以上の応募があったのが7校ということで、多くの児童から応募を頂いたという状況でございます。

3の「結果」でございます。(1)の優秀賞でございますが、12作品を選出しておりまして、記載のとおりでございます。

お手数ですが裏面をご覧ください。今年度より12作品のほかに31作品を佳作として表彰いたします。こちらに記載の31名には、後日学校を通じて、記念品を贈呈する予定でございます。

4の「表彰式」でございます。対象者は先ほど申し上げた優秀賞受賞の12名でございます。令和4年3月15日、午後4時30分から、男女平等推進センターの多目的ホールを予定してございます。

こちら、入り口での検温、手指消毒の実施など、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施していく予定でございます。

私からの説明は以上でございます。

○**教育長** ただいまの報告について、ご質問、ご意見などございますでしょうか。

上原委員。

○**上原委員** 100名以上出た学校が7校あると言っていましたけれども、これを見ますと、花の木小学校は優秀賞にも入っているし、佳作にも入っているという感じで、結構同じ学校がたくさん並んでいますよね。葛飾小学校とか、上千葉小学校、新宿小学校もそうですけれども、やはりそういった学校が100名以上の学校なのですか。

○**教育長** 地域教育課長。

○**地域教育課長** ご指摘のとおりです。例えば、花の木小学校におきましては200名を超える208名の応募がございました。また新宿小学校も178名ということで、応募が多数ございました。

我々が審査する際には学校名というのは伏せて、全体を通して審査しているわけですが、やはり応募数が多いと、ここに載ってくる確率が上がってくると考えているところでございます。

○**教育長** 上原委員。

○**上原委員** 子どもたちにしてみても、優秀賞の12作品がカレンダーに載ってくるわけではないですか。これは自分に対して、すごく自信が持てるようになると思うのです。やはりそういう自信というのを小学校のときなどに持てると、それが将来につながってきます。

人生でいろいろなことが起きて潰れそうになったときがあっても、「あのとき頑張ったからな」と思うと頑張れて乗り越えられるというのがありますから、本当にいい取組だと思います。多分ここで優秀賞になった家のお子さんのご両親やご親族の方はすごく鼻高々で、いろいろな人に見せたり差し上げたりするのではないかなと思いますので、この取組は続けていただきたいと思います。

○**教育長** ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。

望月委員。

○望月委員 やはり優秀賞に選ばれた子どもが学校にいと、そこにいるほかの児童も「今度は自分も応募してみよう」という気持ちになると思うので、ぜひ大勢の子に出してもらうためにも、家庭科の時間を大切に、応募してみようと思うように指導していただければ良いと思います。

よろしくお願ひいたします。

○教育長 ほかにはいかががでしょうか。

壺内委員。

○壺内委員 朝食を食べない児童が結構いると思うのですが、このことによつて朝食を食べるようになったと、顕著に分かるような事例等がありましたらご紹介ください。

○教育長 地域教育課長。

○地域教育課長 個別具体的に、こういう事例があつたということは把握していないところではございますが、我々としてはこの「朝食レシピコンテスト」の結果をカレンダーに掲載することによつて、朝食を食べる児童数を増やしていけるように、取り組んでいきたいと考えております。

○教育長 ほかにはいかががでしょうか。よろしいですか。

以上で、報告事項等の3を終わりといたします。

以上で、本日の議事は全て終了となりますけれども、その他何かご意見、ご質問等はございませんでしょうか。よろしいですか。

それでは以上をもちまして、令和3年教育委員会第11回定例会を閉会といたします。ありがとうございました。

閉会時刻 10時22分